

# ミカン生育情報

千葉県  
平成 27 年 8 月号

## 平成 27 年 7 月の気象

平成 27 年 7 月の半旬別の気象を表 1 に記した。平均気温は、第 1 及び第 2 半旬では平年より低く、それ以外の半旬では平年より高かった。月平均気温は 24.5℃で、平年及び前年より 0.1℃高かった。

7 月 1 日から 10 日までは毎日雨が降り、降水量は、第 1、第 2 及び第 4 半旬では平年より多く、それ以外の半旬では平年より少なかった。月合計は 297mm で、平年の 172%、前年の 540%であった。

日照時間は、第 1 及び第 2 半旬では平年より短く、それ以外の半旬では平年を上回った。月合計は 208 時間で平年の 119%、前年の 102%であった。

梅雨明けは 7 月 19 日ごろで、これは平年及び昨年に比べ、共に 2 日早かった。

表 1 平成 27 年 7 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	21.1	22.9	22.5	190	38	25	1	21	21
2	20.8	23.4	23.4	76	36	12	11	23	19
3	25.8	24.6	25.2	0	36	7	56	25	43
4	26.0	24.6	23.5	31	21	12	33	28	18
5	26.0	24.8	25.4	1	21	0	46	33	42
6	26.7	25.8	25.9	0	22	0	61	44	61
平均/計	24.5	24.4	24.4	297	173	55	208	175	203

## 果実及び樹の生育

南房総市内の 2 か所の園地と暖地園芸研究所における温州ミカンの着果量は、早生温州、普通温州ともに昨年より多い。しかし、樹によるバラツキがあり、着果が少ない樹も見られる。生理落果も樹によるバラツキはあるが、ほぼ平年並みである。

7 月下旬における調査園の果実生育状況を表 2 に示した。早生温州は横径、縦径の平年比がそれぞれ 94、95% で平年を下回っていた。普通温州は横径・縦径ともに 97% で平年をやや下回っていた。また、川野夏柑は、横径が 104%、縦径が 102% で平年を上回っていた。

病害虫については、現在のところ越冬世代の果樹カメムシ類の発生は少ない。しかし、今年孵化するカメムシは多いと予想されるため、今後の発生量には注意をする。

## 8～9月の栽培管理

**摘果** 本年の着果量は多めであるが、園地や樹によるバラツキも見られるため、それぞれの樹にあった摘果を行う。早生温州は 8 月に仕上げ摘果、9 月以降～収穫前ま

でに樹上選果を行う。普通温州の仕上げ摘果は8月以降に行う。仕上げ摘果は果実の大きさや外観、品質を揃えるための作業で、適正葉果比（早生温州では30葉に1果、普通温州では25葉に1果）に近づけるようにする。着果量の少ない樹は、8月に仕上げ摘果は行わず、9月以降に樹上選果とあわせて行う。

**表2 果実の生育（平成27年7月30日）**

No.	種類・品種	調査地	横径 (cm)		縦径 (cm)	
1	興津早生	三 芳	3.6	(97)	3.2	(95)
2		千 倉	3.6	(93)	3.3	(93)
3		暖地園研	3.6	(94)	3.4	(97)
4	大津4号	三 芳	3.5	(96)	3.0	(96)
5		千 倉	3.6	(96)	3.0	(96)
6		暖地園研	3.5	(100)	3.0	(100)
7	青島温州	三 芳	3.5	(96)	3.1	(97)
8		千 倉	3.6	(95)	3.0	(94)
9		暖地園研	3.6	(100)	3.1	(100)
10	川野夏柑	暖地園研	4.9	(104)	4.6	(102)
11	日南1号	暖地園研	4.5	(-)	3.8	(-)
	平均*	早生温州	3.6	(94)	3.3	(95)
		普通温州	3.5	(97)	3.0	(97)

( ) の数字は平年値（平成7～26年の平均）を100とした比数 ※日南1号は本年から調査

\*早生温州：No.1～3の平均、普通温州：No.4～9の平均

**病害虫の防除** 防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

**温州ミカン** ミカンハダニは気温が低下し始める8月下旬以降に増殖する。この時期の加害は果実の外観を悪くするため、収穫期まで発生に注意し防除を行う。9月以降の防除の目安は、寄生葉率20%（葉10枚のうち2枚にハダニが寄生している状態）である。防除の際には、同じ系統の成分を含む殺ダニ剤の連用は避ける。

ミカンサビダニは高温乾燥条件で発生量が増える。前年に発生が見られた園や7月に防除を行っていない場合は注意し、初期防除に努める。

黒点病は降雨により伝染するため、秋雨前に防除を行う。農薬の使用から収穫までの日数と使用回数に注意をする。

**中晩生カンキツ類** 9～10月はミカンハダニの発生に注意し、防除を行う。台風の前にはかいよう病対策を行う。秋雨前に黒点病の防除も行う。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961 ※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>